

改正後	改正前
<p>日本農林規格 JAS 1152-1 : <u>2026</u></p> <p>集成材—第 1 部：一般要求事項 Glued Laminated Timber— Part 1 : General requirements</p>	<p>日本農林規格 JAS 1152-1 : <u>2023</u></p> <p>集成材—第 1 部：一般要求事項 Glued Laminated Timber— Part 1 : General requirements</p>
<p>1～4 （略）</p> <p>5 表示</p> <p>5.1 造作用集成材の表示事項</p> <p><u>造作用集成材の表示事項については、次による。</u></p> <p>a) 次の事項を一括して表示しなければならない。</p> <p>1) 品名</p> <p><u>2) 等級</u></p> <p><u>3)～6) （略）</u></p> <p><u>7) 製造業者、販売業者又は輸入業者（以下“製造業者等”という。）の氏名又は名称及び所在地</u></p> <p>b)・c) （略）</p> <p>5.2 造作用集成材の表示の方法</p> <p><u>造作用集成材の表示の方法については、次による。</u></p> <p>a) <u>5.1 a) に掲げる事項の表示は、次に規定する方法により行われなければならない。</u></p> <p>1) （略）</p> <p><u>2) 等級 等級は、1 等又は 2 等の別を記載する。</u></p> <p>3) （略）</p> <p><u>4) 見付け材面 1 面、2 面、3 面及び 4 面のいずれかを表す文字等を記載しなければならない。</u> ただし、<u>4.1.4 によって</u>協定等を結んだ場合は、“—”と記載しなければならない。</p> <p><u>5)・6) （略）</u></p> <p><u>7) 製造業者等の氏名又は名称及び所在地 製造業者にあつては製造業者の氏名又は名称及び所在地を、販売業者にあつては販売業者の氏名又は名称及び所在地を記載しなければならない。</u> ただし、<u>輸入品にあつては、輸入業者の氏名又は名称及び所在地を記載しなければならない。</u></p> <p>b) <u>5.1 b) によって</u>、非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料を使用している旨の表示をする場合には“非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用”と記載しなければならない。</p> <p>c) <u>5.1 c) によって</u>、非ホルムアルデヒド系接着剤を使用している旨の表示をする場合には、“非ホルムアルデヒド系接着剤使用”と記載しなければならない。</p> <p>d) <u>5.1 の表示は、A.1 によって</u>、各個又は各こりの、見やすい箇所に明瞭にしなければならぬ。</p>	<p>1～4 （略）</p> <p>5 表示</p> <p>5.1 造作用集成材の表示事項</p> <p>a) 次の事項を一括して表示しなければならない。</p> <p>1) 品名 (新設)</p> <p><u>2)～5) （略）</u></p> <p><u>6) 製造業者又は販売業者（輸入品にあつては、輸入業者）の氏名又は名称及び所在地</u></p> <p>b)・c) （略）</p> <p>5.2 造作用集成材の表示の方法</p> <p>a) <u>5.1 a) 1)～5) に掲げる事項の表示は、次に規定する方法により行われなければならない。</u></p> <p>1) （略） (新設)</p> <p>2) （略）</p> <p><u>3) 見付け材面 1 面、2 面、3 面及び 4 面のいずれかを表す文字等を記載しなければならない。</u> ただし、<u>4.1.4 により</u>協定等を結んだ場合は、“—”と記載しなければならない。</p> <p><u>4)・5) （略）</u> (新設)</p> <p>b) <u>5.1 b) により</u>、非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料を使用している旨の表示をする場合には“非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用”と記載しなければならない。</p> <p>c) <u>5.1 c) により</u>、非ホルムアルデヒド系接着剤を使用している旨の表示をする場合には、“非ホルムアルデヒド系接着剤使用”と記載しなければならない。</p> <p>d) <u>5.1 a) に規定する事項の表示は、A.1 により</u>、各個又は各こりごとに、見やすい箇所にしなければならない。</p>

5.3 化粧ばり造作用集成材の表示事項

化粧ばり造作用集成材の表示事項については、次による。

- a) 次の事項を一括して表示しなければならない。
 - 1) (略)
 - 2) 等級
 - 3)~8) (略)
 - 9) 製造業者等の氏名又は名称及び所在地
- b)・c) (略)

5.4 化粧ばり造作用集成材の表示の方法

化粧ばり造作用集成材の表示の方法については、次による。

- a) 5.3 a)に掲げる事項の表示は、次に規定する方法によって行われなければならない。
 - 1) (略)
 - 2) 等級 等級は、1等又は2等の別を記載する。
 - 3)~8) (略)
 - 9) 製造業者等の氏名又は名称及び所在地 製造業者にあつては製造業者の氏名又は名称及び所在地を、販売業者にあつては販売業者の氏名又は名称及び所在地を記載しなければならない。ただし、輸入品にあつては、輸入業者の氏名又は名称及び所在地を記載しなければならない。
- b)・c) (略)
- d) 5.3の表示は、A.1によって、各個又は各こりの、見やすい箇所に明瞭にしなければならない。

5.5 構造用集成材の表示事項

構造用集成材の表示事項については、次による。

- a) 次の事項を一括して表示しなければならない。
 - 1)~7) (略)
 - 8) 検査方法 (JAS 1152-2 の 5.7 の曲げ A 試験を行うものに限る。)
 - 9) 製造業者等の氏名又は名称及び所在地
- b)~h) (略)

5.6 構造用集成材の表示の方法

構造用集成材の表示の方法については、次による。

- a) 5.5 a)に掲げる事項の表示は、次に規定する方法によって行われなければならない。
 - 1)・2) (略)
 - 3) 材面の品質 “1種”、“2種”又は“3種”と記載しなければならない。ただし、4.3.5によって協定等を結んだ場合は、“一”と記載しなければならない。
 - 4)~7) (略)
 - 8) 検査方法 JAS 1152-2 の 5.7 の曲げ A 試験を行うものにあつては、曲げ性能試験を行った旨を記載しなければならない。
 - 9) 製造業者等の氏名又は名称及び所在地 製造業者にあつては製造業者の氏名又は名称及び所在地を、販売業者にあつては販売業者の氏名又は名称及び所在地を記載しなければならない。ただし、輸入品にあつては、輸入業者の氏名又は名称及び所在地を記載しなければならない。
- b) 5.5 b)によって、使用方向を表示する場合には、上面（荷重を受ける面をいう。以下同じ。）の見や

5.3 化粧ばり造作用集成材の表示事項

- a) 次の事項を一括して表示しなければならない。
 - 1) (略)
 - (新設)
 - 2)~7) (略)
 - 8) 製造業者又は販売業者（輸入品にあつては、輸入業者）の氏名又は名称及び所在地
- b)・c) (略)

5.4 化粧ばり造作用集成材の表示の方法

- a) 5.3 a) 1)~7)に掲げる事項の表示は、次に規定する方法により行われなければならない。
 - 1) (略)
 - (新設)
 - 2)~7) (略)
 - (新設)

- b)・c) (略)
- d) 5.3 a)に規定する事項の表示は、A.1により、各個又は各こりごとに、見やすい箇所にしなければならない。

5.5 構造用集成材の表示事項

- a) 次の事項を一括して表示しなければならない。
 - 1)~7) (略)
 - 8) 検査方法 (JAS 1152-2 の 5.7 曲げ A 試験を行うものに限る。)
 - 9) 製造業者又は販売業者（輸入品にあつては、輸入業者）の氏名又は名称及び所在地
- b)~h) (略)

5.6 構造用集成材の表示の方法

- a) 5.5 a) 1)~8)に掲げる事項の表示は、次に規定する方法によって行われなければならない。
 - 1)・2) (略)
 - 3) 材面の品質 “1種”、“2種”又は“3種”と記載しなければならない。ただし、4.3.5により協定等を結んだ場合は、“一”と記載しなければならない。
 - 4)~7) (略)
 - 8) 検査方法 JAS 1152-2 の 5.7 曲げ A 試験を行うものにあつては、曲げ性能試験を行った旨を記載しなければならない。
 - (新設)
- b) 5.5 b)により、使用方向を表示する場合には、上面（荷重を受ける面をいう。以下同じ。）の見や

やすい位置に、その面が上面である旨を記載しなければならない。

- c) **5.5 c)**によって、幅はぎ未評価ラミナを使用する場合には“品名”の事項の後に、“(幅はぎ未評価ラミナ使用：中間層)”，“(幅はぎ未評価ラミナ使用：内層)”又は“(幅はぎ未評価ラミナ使用：中間層・内層)”と記載するとともに**5.5 b)**に従った表示を行わなければならない。
- d) **5.5 d)**によって、ホルムアルデヒド放散量の表示記号を表示する場合には、次の**1)～4)**に規定するところによって記載しなければならない。
- 1) **JAS 1152-2** の **5.12** のホルムアルデヒド放散量試験による試験結果がホルムアルデヒド放散量(ホルムアルデヒド放散量についての表示をしてあるものに限る。)の項基準の欄の表 F☆☆☆☆と表示するものの項に該当するときは、“F☆☆☆☆”と記載しなければならない。
 - 2) **JAS 1152-2** の **5.12** のホルムアルデヒド放散量試験による試験結果がホルムアルデヒド放散量(ホルムアルデヒド放散量についての表示をしてあるものに限る。)の項基準の欄の表 F☆☆☆と表示するものの項に該当するときは、“F☆☆☆”と記載しなければならない。
 - 3) **JAS 1152-2** の **5.12** のホルムアルデヒド放散量試験による試験結果がホルムアルデヒド放散量(ホルムアルデヒド放散量についての表示をしてあるものに限る。)の項基準の欄の表 F☆☆と表示するものの項に該当するときは、“F☆☆”と記載しなければならない。
 - 4) **JAS 1152-2** の **5.12** のホルムアルデヒド放散量試験による試験結果がホルムアルデヒド放散量(ホルムアルデヒド放散量についての表示をしてあるものに限る。)の項基準の欄の表 F☆S と表示するものの項に該当するときは、“F☆S”と記載しなければならない。
- e) **5.5 e)**によって、保存処理を施した旨の表示をする場合にあっては、性能区分は“保存処理 K3”又は“保存 K3”と記載するほか、使用した木材保存剤の種類を表 37 の左欄に掲げる木材保存剤名又は同表の右欄に掲げる木材保存剤の記号をもって記載しなければならない。また、処理方法を性能区分の次に“(製品処理)”又は“(ラミナ処理)”と記載しなければならない。

表 37 (略)

- f) **5.5 f)**によって、実大曲げ試験又は実証試験を伴うシミュレーション計算による強度確認を行った旨の表示をする場合であって、実大曲げ試験による強度確認を実施したものにあっては、“実大曲げ試験による強度確認を実施”等と、実証試験を伴うシミュレーション計算による強度確認を行ったものにあっては、“実証試験を伴うシミュレーション計算による強度確認を実施”等と記載しなければならない。
- g) **5.5 g)**によって、プルーフロードによる強度確認を行った旨の表示をする場合にあっては、“プルーフロードによる強度確認を実施”と記載しなければならない。
- h) **5.5 h)**によって、接着剤又は塗料若しくは木材保存剤にホルムアルデヒドを含まない旨又は放散しない旨の表示をする場合には、次のいずれかの方法による。
- 1)・2) (略)
- i) **5.5 a)**の表示は、**A.2** によって、各個又は各こりに、見やすい箇所に明瞭にしなければならない。

5.7 化粧ばり構造用集成柱の表示事項

5.3 に同じ。ただし、**a) 2)**を除く。

5.8 化粧ばり構造用集成柱の表示の方法

5.4 に同じ。ただし、**a) 2)**を除くとともに、品名及び樹種名(芯材)の表示は、次に規定する方法によって行われなければならない。

やすい位置に、その面が上面である旨を記載しなければならない。

- c) **5.5 c)**により、幅はぎ未評価ラミナを使用する場合には“品名”の事項の後に、“(幅はぎ未評価ラミナ使用：中間層)”，“(幅はぎ未評価ラミナ使用：内層)”又は“(幅はぎ未評価ラミナ使用：中間層・内層)”と記載するとともに**5.5 b)**に従った表示を行わなければならない。
- d) **5.5 d)**により、ホルムアルデヒド放散量の表示記号を表示する場合には、次の**1)～4)**に規定するところにより記載しなければならない。
- 1) **JAS 1152-2** の **5.12** ホルムアルデヒド放散量試験による試験結果がホルムアルデヒド放散量(ホルムアルデヒド放散量についての表示をしてあるものに限る。)の項基準の欄の表 F☆☆☆☆と表示するものの項に該当するときは、“F☆☆☆☆”と記載しなければならない。
 - 2) **JAS 1152-2** の **5.12** ホルムアルデヒド放散量試験による試験結果がホルムアルデヒド放散量(ホルムアルデヒド放散量についての表示をしてあるものに限る。)の項基準の欄の表 F☆☆☆と表示するものの項に該当するときは、“F☆☆☆”と記載しなければならない。
 - 3) **JAS 1152-2** の **5.12** ホルムアルデヒド放散量試験による試験結果がホルムアルデヒド放散量(ホルムアルデヒド放散量についての表示をしてあるものに限る。)の項基準の欄の表 F☆☆と表示するものの項に該当するときは、“F☆☆”と記載しなければならない。
 - 4) **JAS 1152-2** の **5.12** ホルムアルデヒド放散量試験による試験結果がホルムアルデヒド放散量(ホルムアルデヒド放散量についての表示をしてあるものに限る。)の項基準の欄の表 F☆S と表示するものの項に該当するときは、“F☆S”と記載しなければならない。
- e) **5.5 e)**により、保存処理を施した旨の表示をする場合にあっては、性能区分は“保存処理 K3”又は“保存 K3”と記載するほか、使用した木材保存剤の種類を表 37 の左欄に掲げる木材保存剤名又は同表の右欄に掲げる木材保存剤の記号をもって記載しなければならない。また、処理方法を性能区分の次に“(製品処理)”又は“(ラミナ処理)”と記載しなければならない。

表 37 (略)

- f) **5.5 f)**により、実大曲げ試験又は実証試験を伴うシミュレーション計算による強度確認を行った旨の表示をする場合であって、実大曲げ試験による強度確認を実施したものにあっては、“実大曲げ試験による強度確認を実施”等と、実証試験を伴うシミュレーション計算による強度確認を行ったものにあっては、“実証試験を伴うシミュレーション計算による強度確認を実施”等と記載しなければならない。
- g) **5.5 g)**により、プルーフロードによる強度確認を行った旨の表示をする場合にあっては、“プルーフロードによる強度確認を実施”と記載しなければならない。
- h) **5.5 h)**により、接着剤又は塗料若しくは木材保存剤にホルムアルデヒドを含まない旨又は放散しない旨の表示をする場合には、次のいずれかの方法による。
- 1)・2) (略)
- i) **5.5 a)**に規定する事項の表示は、**A.2** により、各個又は各こりに見やすい箇所にしなければならない。

5.7 化粧ばり構造用集成柱の表示事項

5.3 に同じ。

5.8 化粧ばり構造用集成柱の表示の方法

5.4 に同じ。ただし、品名及び樹種名(芯材)の表示は、次に規定する方法により行われなければならない。

a)・b) (略)

5.9 表示禁止事項

次に掲げる事項は、これを表示してはならない。

a) 表示事項の項の規定によって表示してある事項の内容と矛盾する用語

b) (略)

附属書 A

(規定)

集成材の表示の様式

A.1 造作用集成材、化粧ばり造作用集成材及び化粧ばり構造用集成柱の表示の様式

(削る。)

5.1, 5.3 及び 5.5 に規定する事項の表示について、造作用集成材、化粧ばり造作用集成材及び化粧ばり構造用集成柱の表示の様式は、次による。この様式は、縦書きとしてもよい。

品名	芯材 ¹⁾ 化粧薄板 ¹⁾
等級	
樹種名	
化粧薄板の厚さ ¹⁾	
見付け材面	

a)・b) (略)

5.9 表示禁止事項

次に掲げる事項は、これを表示してはならない。

a) 表示事項の項の規定により表示してある事項の内容と矛盾する用語

b) (略)

附属書 A

(規定)

集成材の表示の様式

A.1 箇条 5 に規定する事項の表示を次に示す。

a) 造作用集成材、化粧ばり造作用集成材及び化粧ばり構造用集成柱の表示の様式

品名	芯材 ¹⁾ 化粧薄板 ¹⁾
樹種名	
化粧薄板の厚さ ¹⁾	
見付け材面	
寸法	短辺 長辺 材長
ホルムアルデヒド放散量 ²⁾	
使用接着剤等の種類 ³⁾	
製造業者 ^{4), 5)}	

図 A.1—造作用集成材、化粧ばり造作用集成材及び化粧ばり構造用集成柱の表示の様式

- この様式中、造作用集成材にあつては、“芯材”、“化粧薄板”及び“化粧薄板の厚さ”を、それぞれ省略しなければならない。
- ホルムアルデヒド放散量についての表示をしていないものにあつては、この様式中“ホルムアルデヒド放散量”を省略しなければならない。
- 非ホルムアルデヒド系接着剤である旨の表示をしていないものにあつては、この様式中“使用接着剤等の種類”を省略しなければならない。
- 表示を行う者が販売業者である場合にあつては、この様式中“製造業者”を“販売業者”とする。
- 輸入品にあつては、4)にかかわらず、この様式中“製造業者”を“輸入業者”とする。
- この様式は、縦書きとしてもよい。

(新設)

寸 法	短辺 長辺 材長
ホルムアルデヒド放散量 ¹⁾	
使用接着剤等の種類 ²⁾	
製造業者等 ³⁾	

- 注¹⁾** 造作用集成材及び化粧ばり造作用集成材に限り記載する。
- 注²⁾** この様式中、造作用集成材にあつては、“芯材”、“化粧薄板”及び“化粧薄板の厚さ”を、それぞれ省略する。
- 注³⁾** ホルムアルデヒド放散量についての表示をしていないものにあつては、この様式中“ホルムアルデヒド放散量”を省略する。
- 注⁴⁾** 非ホルムアルデヒド系接着剤である旨の表示をしていないものにあつては、この様式中“使用接着剤等の種類”を省略する。
- 注⁵⁾** 製造業者等は、製造業者である場合にあつては、“製造業者”に、販売業者である場合にあつては、“販売業者”に、輸入品にあつては、“輸入業者”に置き換える。

図 A.1—造作用集成材、化粧ばり造作用集成材及び化粧ばり構造用集成材の表示の様式

(削る。)

b) 構造用集成材の表示の様式

品 名	
強 度 等 級	
材 面 の 品 質	
接 着 性 能	
樹 種 名	
寸 法	
ラミナの積層数 ¹⁾	
検 査 方 法 ²⁾	
ホルムアルデヒド放散量 ³⁾	
性能区分及び処理方法 ⁴⁾	
木 材 保 存 剤 ⁴⁾	
実大曲げ試験等 ⁵⁾	
プルーフローダ ⁶⁾	
使用接着剤等の種類 ²⁾	
製造業者等 ^{3), 2)}	

図 A.2—構造用集成材の表示の様式

- 1) 薄板をはり付けていないものにあつては、この様式中“ラミナの積層数”を省略しなければならない。
- 2) 曲げ性能試験を行った旨の表示をしていないものにあつては、この様式中“検査方法”を省略しなければならない。
- 3) ホルムアルデヒド放散量についての表示をしていないものにあつては、この様式中“ホルムアルデヒド放散量”を省略しなければならない。
- 4) 保存処理を施した旨の表示をしていないものにあつては、この様式中“性能区分及び処理方法”及び“木材保存剤”を省略しなければならない。

A.2 構造用集成材の表示の様式

5.7に規定する事項の表示について、構造用集成材の表示の様式は、次による。この様式は、縦書きとしてもよい。

品名	
強度等級	
材面の品質	
接着性能	
樹種名	
寸法	
ラミナの積層数 ^{a)}	
検査方法 ^{b)}	
ホルムアルデヒド放散量 ^{c)}	
性能区分及び処理方法 ^{d)}	
木材保存剤 ^{d)}	
実大曲げ試験等 ^{e)}	
ブルーフローダ ^{f)}	
使用接着剤等の種類 ^{g)}	
製造業者等 ^{h)}	

注^{a)} 薄板をはり付けていないものにあつては、この様式中“ラミナの積層数”を省略する。

注^{b)} 曲げ性能試験を行った旨の表示をしていないものにあつては、この様式中“検査方法”を省略する。

注^{c)} ホルムアルデヒド放散量についての表示をしていないものにあつては、この様式中“ホルムアルデヒド放散量”を省略する。

注^{d)} 保存処理を施した旨の表示をしていないものにあつては、この様式中“性能区分及び処理方法”及び“木材保存剤”を省略する。

注^{e)} 実大曲げ試験又は実証試験を伴うシミュレーション計算を行った旨の表示をしていないものにあつては、この様式中“実大曲げ試験等”を省略する。

注^{f)} ブルーフローダによる強度確認を行った旨の表示をしていないものにあつては、この様式中“ブルーフローダ”を省略する。

注^{g)} 非ホルムアルデヒド系接着剤である旨の表示をしていないものにあつては、この様式中“使

5) 実大曲げ試験又は実証試験を伴うシミュレーション計算を行った旨の表示をしていないものにあつては、この様式中“実大曲げ試験等”を省略しなければならない。

6) ブルーフローダによる強度確認を行った旨の表示をしていないものにあつては、この様式中“ブルーフローダ”を省略しなければならない。

7) 非ホルムアルデヒド系接着剤である旨の表示をしていないものにあつては、この様式中“使用接着剤等の種類”を省略しなければならない。

8) 表示を行う者が販売業者である場合にあつては、この様式中“製造業者”を“販売業者”とする。

9) 輸入品にあつては、8)にかかわらず、この様式中“製造業者”を“輸入業者”とする。

10) この様式は、縦書きとしてもよい。

(新設)

用接着剤等の種類”を省略する。

注^{h)} 製造業者等は、製造業者である場合にあつては、“製造業者”に、販売業者である場合にあつては、“販売業者”に、輸入品にあつては、“輸入業者”に置き換える。

図 A.2—構造用集成材の表示の様式

附属書 B・附属書 C (略)

日本農林規格

JAS

1152-2 : 2026

集成材—第 2 部 : 試験方法 (略)

附属書 B・附属書 C (略)

日本農林規格

JAS

1152-2 : 2023

集成材—第 2 部 : 試験方法 (略)